

## 沢田クリーニング店の明日

田村 由布子

### ○登場人物

沢田 美由（高校2年） クリーニング店の娘。帰宅部

西野 楓（高校2年） 美由の幼馴染。帰宅部

賀上<sup>かがみ</sup> 春香（高校2年） 美由、楓が通う高校に転校してきた。吹奏楽部

沢田 菜々実（大学2年） 美由の姉

○クリーニング店 店前(夕)

小さいテーブルと椅子が2つ置かれている。

→ シャツに短パンのようなリラックスした服装の沢田美由と西野楓、向かい合って夏休みの宿題をしながら話している。

美由…えー？ どういう意味？ 『ライフ イズ ワット ユー メ

イク イット』？ ここにワットが来る意味が分からへんねんて。楓…なんですよ。さっき言うてたんと同じやん。

美由…え？ ライフイズ…人生は？ ワット…何を？ ユーメイク イット…お前がそれを作る???

楓…なんやそれ！

美由…も〜分からん！

楓…そのWhatは、「何」じゃなくて、関係代名詞やって。

美由………

楓…関係代名詞！ 文章の途中でWhatとか来たら大概は関係代名詞やから！ 「人生は自分でつくるもの」。

美由………意味が分からん。

楓…なんですよ！

美由…だつてさ、そもそも関係代名詞って何なん？ 関係？ 何関係？ 誰と誰の関係のこと言うてんの？

楓………はあ？

美由…だつてさ、ちょっと考えてみい。関係の、代名詞なんやろ？ 代名詞自体が、何かの代わりになるものであって、それ固有のアイ

デンティティを持たへんわけやん。

楓…はあ…（考えながら）。

美由…それやったら、せめて「関係」の方だけでも、はつきり何の関係なんか言うといてくれんと。人間関係？ 政治関係？ 学校関係？ 私とあなたの関係って一体何なの？ そこんところはつきりさせてもらわんと、分かってあげたくてもこつちも分かってあげられへんわ。

楓………ちよつと休憩しよか。

美由…その言葉、待ってた。

楓…勉強嫌んなつたらそうやって屁理屈こねてその場にいる全員を混乱させてくんの、昔から変わらへんよな。

美由…作戦勝ちや。

楓…勝つてへん、勝つてへん。

沢田菜々実、店奥からラフな装いで登場。

菜々実…お、楓ちゃん。

楓…あ、お姉さん。

菜々実…今日も来てくれてたんや。

楓…はい。

美由…お姉ちゃんどこ行くん？

菜々実…コンビニとドラスト。

美由…えー！ アイス買ってきて！

菜々実…何でやねん。自分で行き。

美由…え〜！

菜々実…ほなね、楓ちゃん。

楓…あ、はい。いつてらっしゃい。

## 問

美由…暑いなあ……。

楓…暑い。

美由…楓ちゃんごめんな。店番付き合わせて。

楓…ええって。もうこれで最後なんやし。

美由…ちよっと！ 最後って言わんといて！

楓…え？ ごめん。……え、でも最後やんな？

美由………最後や。

楓…やんな。最後ちゃうんかと思った。

美由…最後やけど、最後やって思いたくないねん。

楓…ああ、まあな。それは分かる。私も美由んとこのクリーニング屋

は、何て言うか……、もう半分自分ちみたいに感じてたから。

美由…小学生の頃からさ、ほとんど毎日来てくれてたもんな。

楓…そうそう！ なんか、もうこの椅子とテーブル、私ら専用みたいになってたし。

美由…せや、小3の頃さ、学校から帰ってきたら、ここに知らんカッ  
プル？ が座っててさ、楓ちゃん、ここ私らの席やからって言う

て無理やりどかしたことあったよな！

楓…え!? ちゃうって、そんなことしてへん！

美由…してたって！

楓…ちゃうちゃう！ それ美由やろ！ 「ちよっとすみません！ こ  
こうちの店なんですけど、ご用ないならお引き取りください！」  
って、大人みたいな喋り方で。

美由…え!? ちゃうよ！ それはあの時やん、えーっと、ほら！ な  
んかおばさん二人が一生ここでだべってた時！

楓…え？ ああ…そうやっけ。

美由…そうやって！

楓…そうか………そうやったかも。はあ、懐かしいなあ。

美由…うん………って、やめて！ なんか寂しなるやん。

楓…せやな。ごめん。でもなんか、ここなくなったたらうちの居場所  
一つなくなってしまうような感じして。

美由…せやな………これからうちら、どこで集まったらええんやろ？

楓…それは美由の部屋に決まってるやん。

美由…え!? 何でよ！ 楓ちゃんの部屋でもええやん！

楓…うちはあかん。お母さん、気軽に人家に呼ばれへん性格やから。

美由…そんなん、うちもそうやって！

楓…嘘やん！ 美由のお母さん、ようお客さんと話し込んで、「まあ、  
こんなとこで長話もあれやからちよっと上がって行ったら？」っ  
て、中に引きずり込むうとしてはるやん！

美由…引きずり込むって、人間き悪い！

楓…だから大丈夫やって。ましてや、うちやし。

美由…でもほんまにあかんで。うち、お姉ちゃんと相部屋やし。

楓…あ、そうか。

美由…そうよ。

楓…ほんなら、ほんまにもう集まるとこないやん。

美由……なんか考えよ！ どつかあるつて。ちようどいい居場所！

制服姿の賀上春香、手提げ袋を手に走ってくる。

春香…（息を切らしながら） ……あの。

美由…あ、いらっしやい……あれ？

春香、美由の顔を見て一瞬かたまる。

楓…ん？

美由…あ、えっと……賀上さん？

楓…え？

美由…あ、今年の4月からうちのクラスに転校してきた……

楓…ああ！ そうなんや。こんにちは。

春香、踵を返す。

美由…え？ あ、待って！

立ち止まる春香。

美由…あ、えっと…賀上さん、どうしたん？

春香、立ち止まり、ゆっくり振り返って、

春香…あ、あの……

楓…いや、どうしたも何も、クリーニング出しに来はったんちゃうの？

春香…あ、いや、

美由…あ、そうか、そうやんな。賀上さん、家このへんやったんや。

春香…あの……、（決心したように）今日出して、明日の朝までって、

仕上がりですか？

美由…あ、ごめん。せっかく来てもらったんやけど、実はうち、今日

で閉まんねん。

春香…え？

美由…閉店！ だから今日は、お客さんから預かってる服取りに来

てくれるの待って、全部ハケたら店じまいやねん。

春香…あ、そう……なんだ。

美由…ごめんな！

春香…いえ。

帰ろうとする春香。

楓…待つて！ 明日の朝までつて…なんか急ぎなんちゃうの？

春香…あ、まあ……

美由…あ、そうか。

楓…なんかこの辺で早く仕上げてくれるクリーニング屋さんないの？

美由…ええ？ ライバル店を紹介しろってこと!?

楓…いや、ライバルも何も、もう負けてるやん。閉まんねんから。

美由…ぐさつ。デリカシーないなあ。

楓…ほんまに。どっかあったら教えてあげたら？

美由…いや……この時間やつたら、どんな早い店でも、明日の夕方や

なあ。大手の、最短当日中に受け取り可能！ みたいなところで、

まあ、朝のうちに集荷きて、戻ってくるのがその日の夕方とか。

楓…そうかあ……。

春香…いいんです。すみません。

美由………あ、待つて！ それ、中身何？

春香…え？

美由…物によつては、うちにある物で何とかできるかもしれん。

春香…え、いや、でもさすがにそれは。

美由…うちも、もう今では業者に出して洗ってもらうようになったけど、ほんまに何年か前までは、家で洗うのまでおばあちゃんがやっててん！ だから、一応道具類ひと通り揃ってるし。

楓…ええやん！ ここで洗おう！ 沢田クリーニング店、最後のお

客さんや！

春香…え、いや……

美由…中身何？

春香…いや、でもそこまでしてもらうの悪いし……。やっぱいいです。

美由…何だよ！ 明日の朝までにいるんやろ？

春香…そうだけど……でも、やっぱり。

楓…ほんまに大丈夫なん？

春香………

楓…何に使うやつ？

春香…部活の……ユニフォームなんだけど……

美由…ユニフォーム？ 賀上さん、運動部やつけ？

春香…いや、吹奏楽……

美由…あ、吹奏楽ってユニフォームあるんや。

楓…え、吹奏楽？

美由…ん？

楓…吹奏楽って、確か、そろそろコンクールちゃうん？

美由…え!!

春香…うん…明日……。

美由…ええ！ 大変やん！

春香…いや、でもいいんです。そこまでしてもらうの、悪いんで。

美由…いやいや、良うないよ！

春香…大丈夫です、ほんとに！

美由…ええから、ちょっとそれ貸して！

美由、半ば無理やり春香から手提げを奪い取る。

袋から吹奏楽部のユニフォームを取り出すと、ベッタリと油性マジックで落書きされている。

美由…え……

楓……何これ。

二人からユニフォームを奪い返す春香。

美由…それ……

春香…これ、その、ちょっと、汚れちゃって。普通に、自分で、汚しちゃって。その、たぶん、油性ペンだと思うんだけど。

顔を見合わせる美由と楓。

楓…あ、えつと……うん、そっか。

春香…うん。

美由…これは……何とかせなな！

春香…え？

美由…だって、明日コンクールなんやろ？ 綺麗にせんとやろ！

春香…えつと……

楓…え、できるん？

美由…え……うん！

楓…ほんまに？

美由……大丈夫やって！ 洗剤も普通の家よりは色々置いてるし。楓…せやけどこれ……えつと、賀上さん？ これ、油性ペンって言う

たよね？

春香…はい、多分。

楓……いける？

美由…大丈夫、大丈夫！ 何とかなるて！ 賀上さん、頑張つて明日のコンクールまでに汚れ落とそう！

楓…いやいや、ちょっと。

楓、美由を引っ張つて春香から離れる。

楓、美由、春香に聞こえないよう、背を向け小声で話す。

美由…何？

楓…これ、勝手にやってええん？

美由…え？

楓…だから、これって、うちらで勝手にやってしもてええ話なんやろか。

美由……あ、うちの店の売上にするかどうかとかってこと？ 大丈夫！ 今回ののはクラスメイト割引かつ閉店セールでタダにしと

くわ!

楓…ちゃうって! 誰もあんたの店の売上心配してへんねん。

美由…は? 冷たいなあ。

楓…じゃなくて……あれ、どう見ても人為的なもんやん。

美由…人為的?

楓…誰かが故意にあの子のユニフォームに落書きしてるやんってこと。

美由…ああ……やっぱそうなんかな?

楓…え? いやいや、どう見てもそうやろ。

美由…いや、うちも初めは誰かにやられたんかって直感で思ってたけどさ、賀上さん、自分でやったって言うてたから、あ、そうなんかと思つて。

楓…え!? 納得してたん?

美由…うん。

楓…そんなわけないやん。どうやったら自分のうっかりであんだけ汚せるん?

美由…そこまでは知らんよ。

楓…美由……あんた想像力足らんわ。足らんすぎる。

美由…ええ。

楓…で、どうする?

美由…どうするって? 洗剤の種類の話?

楓…ちゃう! ちゃうやろ! これ、こちらが勝手に汚れ落としてしもてええん? 先生とかに言わんで。

美由…え……

楓…これ、汚れ落ちてしまつたら、証拠隠滅やん。

美由…証拠揃つて……でも、賀上さんは汚れ落したいんやから。

楓…それはそうやけど……

美由…証拠揃つて明日のコンクール出るん?

楓…え?

美由…私は誰かに嫌われてて、嫌がらせでユニフォームに落書きされましたって、そういう証拠揃つてステージ立つん? そんな、嫌やろ。普通に。

楓…それはそうかもしれんけど……

春香…あの、

美由…あ、ごめんごめん! 今、使えそうな洗剤の相談してん!

大丈夫。こちらが綺麗にするから!

春香…いや、でも私やっぱり……

美由…大丈夫やから! 何も心配せんといて! あ、お金とかいらんから。クラスメイト割引と閉店セールで特別にタダ!

春香…はあ……

美由…とりあえず、まず洗剤とタライ持ってくるから! ちよつと待つて!

楓…え、ここでやるん? 店の奥じゃなくて?

美由…ここよ! 奥でやってたらお母ちゃんに色々聞かれてややこしいやん。

楓…ええ……

美由…ちょっと待っててな！

美由、店奥へと退場。

残された楓と春香、少し気まずい沈黙。

楓…………えっと、賀上さん？

春香…はい。

楓…えー…あ、なんか、ごめんな。美由、昔からあんな感じやねん。  
すぐ突っ走る性格っていうか。

春香…………

楓…………んー。あ、賀上さんって、下の名前なんて言うん？

春香…春香、です。

楓…へえ！ ええ名前やね！

春香…………

楓…私、西野 楓。

春香…………はい。

楓…………えっと、座る？

春香…いえ。

楓…座ったら？

春香…大丈夫です。

楓…………座って！ な？

春香、仕方なく美由が座っていた場所に座る。

楓…………吹奏楽部？

春香…はい。

楓…楽器何してんの？

春香…クラリネット。

楓…へえー…………。あ、前の学校でもやってたん？

春香…うん。

楓…へえー…………。

楓、店の奥の様子を伺う。美由はまだ戻ってこない。

楓…えっと…………、どこから来はったん？

春香…？

楓…あ、賀上さん。どっから来たん？

春香、黙って下手を指す。

楓…あ、ごめん。そう言う意味ちゃうくて、えっと、どこから転校して来たん？

春香…………福岡。

楓…え、そうなん？ でも関東弁やん。

春香…関東弁。（少し馬鹿にしたように）

楓…あ、標準語？ いや、共通語？ イントネーションさ、関東やん。



春香……その前が、東京。

楓…あ、2回転校してるんや。

春香…その前が仙台で、その前が神戸。その前が札幌で、その前はまた東京。

楓…ええ！ そんな何回も転校してるんや。大変やね。

春香…父の仕事の都合で。仕方ないから。

楓…そっか、そうやんね。お父さんの会社、大きい会社なんやろね。

そんな全国飛び回るような仕事って。

春香……

楓…すごいね。

春香…はあ。

問。

美由、タライと重曹を持って駆けてくる。

美由…おまたせー！

楓…お！ やっと戻って来た！

美由…ごめんごめん！ 重曹なかなか見つからなくて。

楓…重曹？

美由…うん。確かこれでこすったら落ちるって。

楓…おばあちゃんが言うてたん？

美由…ううん。ユーチューブを見た。

楓…なんやそれ！ クリーニング屋のメンツ丸潰れやん！

美由…うるさいわ！（楓に） それ貸して！（春香に）

春香、ユニフォームを渡すのをためらう。

美由…ほら！

春香……うん。

美由、春香からユニフォームを受け取り、笑顔で

美由…大丈夫。頑張って落とそう！ そしたら、はい、これ！

美由、春香に歯ブラシを渡す。

春香…え……？

美由…賀上さんは、これでこすって！

楓…え、賀上さんにもやらせるん？

美由…え？ いやいや、やらせるって人聞き悪い。皆でやった方が早いやん！

楓…いや、そうかもしれんけど……

美由、楓にも歯ブラシを渡し、タライへ向かう。

ユニフォームをタライに沈める。

美由…ほんなら、楓ちゃんはこの辺で、賀上さんはこの辺こすって！

楓…ほんで当たり前前にうちも手伝うねんな。

春香……………

美由…賀上さん、うちの横来て！

春香…あの、やつぱりいいです。

美由…え？

春香…やつぱり、大丈夫。ごめんなさい。色々持って来てもらったのに。

美由…ええ……でもこれどうすんの？

春香……………分からないけど。

楓……………そうやんな、不安やんな。大事なユニフォーム、素人に洗濯

されるの。しかもこんな、家庭的なやりかたで。

美由…素人ちゃうし！ クリーニング屋！

楓…でもこれ見て。歯ブラシやで!?

美由…結局これが一番落ちんねんて！

春香……………

美由…まあ不安かもしれんけど……。でも、やってみるだけやってみいひん？ このままコンクール出るんはさすがに……ちよつとアレやろ。

春香……………いや、もう大丈夫。

美由…でも……

春香…コンクールは、もう出ないから。

美由…ええ？

楓…コンクール、出えへんの？

春香…はい。

美由…ええ、何で？ だって、この日のために一生懸命練習して来たんやろ？

春香…この日のためっていうか……。好きでやってただけだし。

美由…いや、そんな……

春香…ごめんね、沢田さん。こんなにしてくれたのに。

春香、タライに入れられた自分のユニフォームを引き取ろうとする。

が、美由、ユニフォームをはなさない。

美由…あかん。

春香…え？

美由…すみませんが、まだお返しできません。

春香…え……

楓…ちよつと、美由。

美由…お預かりしたお洋服は、まだクリーニング中です。沢田クリーニング店は、こんなビシャビシャのまま、洋服をお客様にお返し

するような店ではございませんので。

春香……………

楓…美由、もうええって言うてはるやん。

美由…でも、もうビシャビシャにしてみましたので。